



国際会長 (IP) Moon Sang Bong (韓国)

“Yes, we can change” 「私たちは変えられる」

“Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」

会長 古田 和彦
副会長 古賀 健一郎
書記 金子 功
会計 伊藤 誠彦
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) 田中 博之 (東日本区)

“Action” 「アクション」

“With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

「為せば、成る」

“No challenge, No fruit”

湘南・沖縄部部長 (DG) 佐藤 節子 (厚木)

「心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「YMCA、ワイズメンと共に！」

“With YMCA, With Y's Men”

監事 松島 美一
ブリテン 古賀 健一郎
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

伊藤 比朗美

思い煩いは、何もかも神にお任せ下さい。神が、あなたがたのことを心にかけていてくださるからです。

(ペトロの手紙 一 5章7節)

今月のひとこと

「大森兵蔵とアニーの愛」

田口 努



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

2019年1月より、毎日曜夜8時からのNHK大河ドラマは、日本がオリンピックに初参加した時から1964年の東京オリンピック開催までの史実をも

とにしたドラマ「いだてん〜オリンピック嘶〜」です。物語は、オリンピックストックホルム大会に日本が初参加した時のマラソンランナーの金栗四三が主人公です。その選手団監督が大森兵蔵で、日本で最初のYMCA体育主事として東京YMCAで働き、日本に初めてバスケットボール、バレーボールを紹介した人物です。大森兵蔵は、同志社、東京高等商業学校(現在の一橋大学)を中退して米国留学し、スタンフォード大学で経済学を学びました。しかし、大森兵蔵は、日本人と米国人の体格差に驚き、日本人の体格向上に体育が重要だと考え、スタンフォード大学も中退し、国際YMCAトレ

ーニングスクール(現在のスプリングフィールド大学)で学びます。その学校には、YMCAの三角マーク(スピリット、マインド、ボディーのバランスのとれた状態が健康と考え、全人的な成長を表す)を考え出したギューリック主事があり、その部下にネイスミスというバスケットボールを生み出した体育主事など、全米で最も優れたスポーツ指導者と出会いました。大森兵蔵は、資本主義社会のひずみの中で弱くされている人びとに光を当て、コミュニティーの中で市民が支え合うセツルメントの働きにも着目していて、日本への帰国後の夢は、市民スポーツの普及とセツルメント活動を展開することでした。軍人教練的な体育しかなかった時代に、市民スポーツを通して、全人的な成長を目指すという概念を広めるのは容易ではなかったと思います。大森兵蔵は、ストックホルム大会の帰路、1913年1月に病死します。留学中に結婚した米国人の妻大森安仁子(アニー)は、夫の死後、日本に帰化し、夫の夢だったセツルメント活動を継続し、有隣園という児童福祉の働きを戦争中も帰国せず続けたそうです。安仁子は、夫の死後から28年後の1941年8月に85歳で老衰のため亡くなりますが、生涯黒い服(喪服)で過ごしたとのことで、夫を慕うように人びとのために人生を捧げた愛の深さを感じます。

<2018年12月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
13名	メン 8名 メネット 1名 コメット 0名 ビジター 0名 ゲスト 4名 合計 13名	77% (メーキャップ 2名含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

<1月の行事予定>

強調月間「IBC/DBC」

日	曜	時間	行事内容	場所
12	土	18:00	Y-Y's 合同新年会兼第一例会	廣東飯店
24	木	17:00	第二例会	中央YMCA

「12月例会・忘年会報告」

大高 治

日時：12月13日（木） 18:00～20:00

場所：横浜中華街 廣東飯店

出席者：青木、伊藤メン・メネ、大高、金子、古賀、田口、古田、松島、

ゲスト：長田、関口、生井、平岡（横浜YMCAの職員）

松島ワイズの司会でまず月例会を開催。古田会長の挨拶では、青木担当主事、田口総主事に加え、今回横浜中央YMCAの職員4名に参加頂けたことへの謝意が述べられ、当クラブの役割が横浜中央YMCA支援とサービスにあることの再認識と共にYMCAの幹部を初めとして、多くの職員と顔馴染みになることの重要性と期待が述べられた。

次いでワイズ信条に進み、今月の聖句は押川ワイズに代って松島ワイズが説明された。ゲスト・ビジターの紹介は生井館長により、ご自身のご挨拶に続いて行われた。

ビジネスでは、①行事予定、②協議・報告において、DBC大阪長野クラブからのクリスマス・ギフトを各位頂戴し、③シンガポールのベータ・チャプター、台湾の基隆、タイのバンコク、スリランカのウェラワットの各IBC宛のクリスマス・カードに全員でサイン。最後の④11月12日の合同新年会への参加申込が促された。



笑顔で、和やかな忘年会

第2部の忘年会に進み、松島ワイズの司会の下、食前感謝に続き、参加者13名が2つのテーブルで、廣東料理と老酒を堪能。終始和やかな宴会であった。

宴が盛り上がった頃合をみて、司会者に促され、自己紹介、近況、来る年への抱負など披露され、各位豊富な経験と今後への期待や希望が述べられた。主な発言を列挙します。

- ①今や世界の頂点に立つ日本のバドミントンは横浜YMCAから始まったもの。デンマーク体操もYMCAが導入した。
- ②Y'sとYMCAの交流を深め、長く続けたい。
- ③日本語学科ではビジター・セッションでもY'sとの関係を深めたい。
- ④外部の企業からもっと寄付・協力金を集め、Y'sの会費を見直し、会員の増加に繋げたい。
- ⑤YMCA主催の運動や体操により多くの人が参加出来るようにしたい。

- ⑥Y'sやYMCAでの活動や交流を通して、人との交流を大切にしてきた経験は、子子孫孫に伝えていけそうだ。
- ⑦韓国Y'sとの交流は今年のハイライトで、中央YMCAの幹部と共に活動出来ることは幸い至極。
- ⑧「若い人が居ないといけない」との考えには反発感がある。90代になってもやるべきことが沢山あるという重鎮がいる。
- ⑨教育（今日行く所あり）、教養（今日用あり）の種は尽きない。
- ⑩会員の増加、楽しい会にする等々、クラブを盛り上げる課題の取組みは大切。会長は2年は続けたい。



12月例会・忘年会出席者

「第83回Y-Y's 協議会報告」

古賀 健一郎

第83回Y-Y's協議会が12月4日（火）午後7:00より横浜中央YMCA501号室で開かれた。今回は横浜つづきクラブが担当。青木一弘部担当主事の司会により讃美歌532番を唱和、聖書朗読（マタイによる福音書22章39節）、祈祷による開会礼拝で始められた。

議事は岡田横浜つづきクラブ会長の司会により進められた。佐藤部長の挨拶に引き続き、報告として

- (1)横浜YMCA関係
- ①第31回ユースボランティア・リーダーズフォーラム(9月7日～9日、東京YMCA山中湖センター開催)の報告。東日本各地からリーダー経験の浅いリーダーたちを招いて、さまざまな分野のユース・ボランティアリーダーとワイズメンの72名が参加し、YMCAに連なる喜びと楽しさを感じた有意義な場となった。基調講演は山口直樹ワイズ（東京武蔵野多摩クラブ）の『今ユースリーダーに求められること』。「こどもたちから学ぶことは多い」の言葉はリーダー達の共感を得た。報告されたユースリーダー2人の方々（渡辺さんと白濱さん）から、ワイズメンズクラブの協力への感謝の気持ちが伝えられた。今後もワイズから多くの参加を募り協力していきたい。
- ②第21回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン(10月20日開催)の報告。109チームが参加、収入総額602万円となり、支出を除いた322万円が神奈川県内のYMCAを通じて障がい児(者)支援プログラムに、138万円が同盟を通じて全国のYMCAが行う障がい児支援活動に使われる予定。
- ③第20回日本YMCA大会(11月23日～25日、YMCA東山荘開催)の報告。約250名が集い、大会テーマは『すべての“Y”がつながる日』であった。

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

(2) ワイズメンズクラブ関係

- ①7月中旬に湘南地域に所属の6つのワイズメンズクラブに部長公式訪問を実施した。沖縄2クラブへの部長公式訪問は来年2月16日予定
- ②湘南・沖縄部 部大会(9月15日レンブラントホテル厚木開催)の報告。佐治晴夫氏(理論物理学)に『宇宙に学ぶ人生』と題して講演いただいた。(以上佐藤部長)
- ③部エクステンション委員会の報告。『横浜YMCAと協働して傘下ブランチ等がある地域に新クラブを設立する』との基本構想で、現在鶴見地域で『(仮)横浜つるみワイズメンズクラブ』の新クラブ設立の動きが着々と進んでいる。(辻剛委員長)
- ④その他各クラブ会長より報告があった。YMCA側6名、ワイズ側15名;横浜クラブ出席者:青木、古田、古賀。次回予定は3月5日(火)、横浜クラブが担当。

「横浜YMCAクリスマス会報告」

古田 和彦

12月20日(木)18時30分から20時30分まで、恒例の横浜YMCAクリスマス会が湘南とつかYMCAで行われた。ワイズメン・メネットはじめ、横浜YMCAにかかわる、レイパースン、スタッフ、来年横浜YMCAに就職する内定者が一堂に会



横浜YMCAクリスマス会

し、主イエス・キリストの誕生を祝った。第1部礼拝では、横須賀基督教社会館理事長の佐藤千郎牧師から、「いのちへの肯定」と題してメッセージをいただいた。第2部は「祝会・分かちあい」。松橋秀之常議員会議長の食前感謝・乾杯に始まり、食事懇談の中、従来の単なるお祝い会だけでなく、今年における主なプログラムの報告を分かち合う時間が持たれた。「韓国・光州YMCA短期研修」報告が、常議員で団長として参加した古賀ワイズから、「三都市ユースキャンプ」報告が、横浜中央YMCA職員の大塚英彦さんから、「世界YMCA大会」報告が、鎌倉YMCA運営委員長の岡戸良子さんから行われた。また、礼拝でささげられた献金60,825円は横浜YMCA国際・地域協力募金として用いられることが報告された。楽しく恵まれたクリスマス会は定刻、工藤誠一理事の挨拶をもって閉会した。当クラブ参加者、大江、金子、古賀、齋藤、田口、古田の各ワイズ。



湘南・沖縄部の皆さんと

「日本水上学園、横浜訓盲院へジャガイモ贈呈報告」

古田 和彦

2018年11月5日(月)、市内の福祉施設である2施設を訪れ、十勝ジャガイモを贈呈した。青木担当主事、今村ワイズ、古田会長が訪問。



日本水上学園にて

日本水上学園は、もともとは水上生活者の子弟の教育機関であったが、今日では児童養護施設となっている。今村ワイズの事前連絡を受け、佐々木亮施設長が待ち受けてくださり、ジャガイモ10箱を

贈呈した。

続いて、横浜訓盲院を訪問。この施設は目の不自由な方々のための施設である。こちらも、伊藤紀子施設長を介して同様10箱贈呈した。当クラブの地域奉仕活動の一環として毎年行っているもので、それぞれの施設に喜ばれている。



横浜訓盲院にて

【新年への一言特集】

「新しい時代へ向けて」

青木 一弘



天皇退位日が、2019年4月30日に決定し、翌5月に新天皇が即位することが決定した。それにより、平成の時代が終了し、新年号へ移行することになる。今まで、昭和生まれの人が古い世代として扱われ、平成生まれの人がニュージェネレーションとしてのポジションを確立させていたが、新たなネクストジェネレーションの流れが訪れる。このように変化が激しい時期だからこそ、次年度は、「変わるべき事と、変わってはいけない事」を大事にしていきたいと思う。いつの時代も平和と幸せを願う人の気持ちは、何も変わらない。大昔も、30年前も、今も、未来も…普通のテーマだからこそ、「変化に対応する」事が何よりも大事だと認識し、次年度は、行動していきたい。

「エンディングノートの作成」

伊藤 誠彦

今年は喜寿を迎える。平均余命は約10年。いつ何が起ころうともおかしくない年齢だと頭では分かっているが、まだまだと高を括っているところがあったことは否めない。



これを戒める出来事が昨年暮れに起こった。12月17日、顔に違和感を覚え病院に行ったところ、即入院を告げられた。病名は顔面神経麻痺。10日間の入院加療を強いられた。

これを機会に、銀行や証券会社主催の終活セミナーで教わったエンディングノートの作成に真面目に取り組みたい。もう駄目だからぼつぼつ店じまいするのではなく、後顧の憂い無く積極的に活動するために。

「青春」

今村 讚



1月9日満89歳となり80代最後の年となる。改めて抱負なるものは無いが、心身共健康で生涯現役を目指し若い頃から心の糧にしている下記のサミュエル・ウルマンの「青春」を目標に邁進する1年としたい。

「青春」 サミュエル・ウルマン

青春とは人生の或る期間を言うものではなく心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。

人は信念と共に若く疑惑と共に老ゆる。人は自信と共に若く恐怖と共に老ゆる。希望ある限り若く失望と共に老い朽ちる。

「新年の抱負」

大江 浩



昨年は西日本豪雨災害、北海道地震等全国各地で災害が相次ぎました。新年早々には熊本北部で地震が発生し、今年1月17日に24回目の記念日となる阪神淡路大震災の経験者として、とても心を痛めています。2016年には

「不都合な真実」(2006年製作:米元副大統領アル・ゴア氏)の第2弾「不都合な真実2」が発表されました。テーマは「放置された地球」です。大切な地球資源を貪り、各地の紛争によって人間の尊厳と地球の破壊を「放置する」人間の罪深さを思い知ります。昨年は世界各地の「暴君」によって不寛容や暴力が加速化した1年でもありました。「今年こそ」私たちの知恵と祈りが聴き届けられ、平和な一年となりますように切に切に祈っています。

「役はこれから」

大高 治

神社仏閣には「厄年表」や「厄年年齢一覧表」が貼り出されています。本厄、前厄、後厄とその厄払いが人口に膾炙し



ています。京都の平安神宮の本厄は男性25歳、42歳、61歳、女性は19歳、33歳、37歳、61歳です。女性60代の厄は珍しくなくなって来たようです。

ある時神社の神職さんに「人生百歳時代です。大厄42歳では実情に合わないではありませんか」と問いかけてみました。「厄は元々役からスタートしたのです。その昔一定の年齢に達すると社会的な役が回って来ます。その役を立派に果たせるよう、身を正し健康に留意しようという習わしがあったのです。」

神社仏閣の厄年表が60代で終わっているのは幸いです。これからは本来の習わしに戻り70代以降の「役年一覧表」を作り、自らの励みにして行きたいと思えます。

「新春の抱負」

押川 幸男



明けましておめでとうございます。群馬県沼田市での最初の冬を過ごします。雪の降る場所に住むのは初めてですが、都市と地方を行き来するのは、意外と楽しいです。色々な発見があります。

今年はインプットよりアウトプットに比重を置いて歩んでいきます。

今年の最初の働きは、先日、御茶ノ水のおりがみ会館で折り紙を購入し、幼稚園の子どもたちに、折り紙でのイノシシ作りを教えようと考えています。今年も皆様とお会いできますこと楽しみにしています。

「新年の抱負」

金子 功



80才を迎えた一昨年来、病氣と言うものと無関係だった体に変調をきたし二つの病名が授けられた。その一つは骨髄異形成症候群と、もう一つは間質性肺炎であった。幸い定期的な病院通いを強いられてはいるものの普段の生活には全く支障をきたさないほど回復して新年を迎えることができた。

健康のありがたさを身に染みて感じると同時に、自分の「いのち」にも終わりがあることを現実の問題としてとらえることを知らされた。新年の抱負と言うほど大げさなものではないが、これからは、健康維持に心がけ、クオリティーオブライフを更に高めるために一日一日を大切にすることを心がけたいと考えているところである。

「やさしい気持ち、笑顔いっぱい運動」

古賀 健一郎

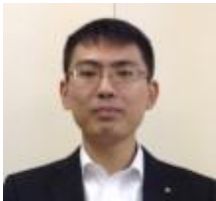
ワイズには多様な活動・楽しみ方がある。私の場合、教会学校の活動をより発展させたいとの想いから、YMCAの活



動への支援を目的とするワイズに入会した経緯もあり、そこを大切にしたい。人として生きる上で大切な価値観が失われつつある今、YMCAのキャラクター・ディベロプメント（やさしい気持ち。笑顔いっぱい）運動には共感を覚える。Caring（思いやり）、Honesty（誠実さ）、Responsibility（責任感）、Respect（尊敬心）について、青少年と一緒に考え学び、共に行動に移していきたい。また横浜YMCAキャラクター・ディベロプメントのオリジナル曲が私の想いを伝えている。（参考）歌詞と曲はYouTubeでお聴きいただきたい。『横浜YMCAキャラクター・ディベロプメント』と検索するとその動画がご覧いただける。

「新年の抱負」

齋藤 宙也



いよいよ新元号の年がやってきました。平成への元号変わりの際はまだ物心付いていなかったのが、実質的には初めての元号変更経験となります。

といっても、仕事は変わらず地道にやるしかないと思います。例会に出席するという目標を掲げたいところですが、ロータリークラブの会長幹事会（本年度幹事）が例会日と全て重なるため、第2木曜の通常例会は少なくとも6月までは参加できません。それ以外の行事にできる限り参加して埋め合わせになるかと思っています。

プライベートにおいて、挙式という名の小規模な親族食事を、3月に行います。それを無事に済ませて落ち着いたら、いよいよ子供を…という話になるのでしょうか。

「新年の抱負」

田口 努



い いの一番に健康経営を目指す横浜YMCAとして、会員の皆さんの健康づくりを進めるYMCA自身の働くスタッフの健康づくり、働き方改革を進めます。

の ノーと自分の意見を主張できる子どもたちを育てます。様々な課題や日常の問題に、それぞれの立場を理解・尊重し、自由に意見交換し、より良い解決策を考えるYMCAをつくります

し 使命を見つめ、静かに祈り、考え実践し、増える外国人を生活者の視点で応援します。

し 市民参加でつくる誰も取り残さない持続可能な社会をつくるSDGsを積極的に進めます。

「後期高齢者らしく」

古田 和彦



3月で75歳を迎え、後期高齢者の仲間入りをします。私の関係している団体のいくつかは、75歳を過ぎて再任しない規定になっていますので、任期が到来するごとに役割も減っていくこととなります。探し物、忘れ物に時間を割くことは、もうかなり前から出ている症状ですが、記憶力・集中力がとみに劣化してきている状態ですので、年齢による任期制限には大変助かります。ワイズメンズクラブはそれらの団体と違い、年齢などの自然条件には関係なく、自発性（ボランティアのこころ）によって自由に参加するところです。衰えは少なくありませんが、後期高齢者らしくゆっくりと落ち着いて、皆さんのご意見に謙虚に耳を傾けて会長職を全うしたいと願っています。みなさま、よろしく願いいたします。

「箱根駅伝に思う」

松島 美一



正月の恒例、箱根駅伝を見ました。自宅から数十メートルの京浜第一国の道端、一区の最終地点、鶴見中継所、まで五百メートル程の場所です。ここでは例年大学間の差はまだそれ程大きくなっていません。今年は大東文化大の第一走者が発走間もなく転倒、足を痛めました。そのため一人だけ大分遅れて来ました。その走者には沿道の声援がひときわ高くなりました。私も縁のないこの大学に何となく肩入れしてしまいました。「判官鼻肩」でしょうか。「弱者の側に立つ」の心だけは持ち続けたいと思います。



担当主事 青木 一弘

●横浜YMCA会員大会のご案内

今年度の横浜YMCA会員大会のご案内です。会員大会は、どなたでも参加でき、YMCAのことが分かるフェスティバルでもあり、平和を願い、みんなで交流し共有する機会です。

子どもから大人、会員の方はもちろん知人などどなたでも参加できるイベントです。入場無料、予約不要です。是非、ご家族・ご友人などをお誘いの上ご参加ください。

日時：2019年2月11日（月・振替休日）

10:00～14:00（開場9:30）

会場：湘南とつかYMCA 1階ホール及び2階教室

テーマ：「平和のつくり方」～お話と歌と紙芝居とゲームとダンスで～

●第3回 子ども支援（BAPY）募金のためのチャリティ

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

ーゴルフ

このゴルフコンペは、経済的な理由によりYMCAで行うさまざまなプログラムに参加することができない子どもたちの支援のための基金の増強を目的に、開催されます。皆さまのお申込みを心よりお待ちしております。

実施日時：2019年3月8日（金）

会場：戸塚カントリー倶楽部 東コース・西コース（選択）
対象年齢：年齢不問（YMCA会員、賛助会、維持会員及びその紹介者）

定員：160名

費用：30,000円（グリーンフィー・キャディフィー・ロッカー代・当日昼食代・チャリティー費用・表彰式・パーティー費用・消費税を含みます）

- ・別途申込書に必要事項をご記入の上、～2019年2月23日（土）までに郵送またはFAXにて大会事務局へお送りください。
- ・お一人でもお申込みいただけます。その際、事務局でグループをアレンジさせていただきます。

担当：中央YMCA/チャリティーゴルフ係 担当 小林・長田

〒231-8458 横浜市中区常盤町1-7

TEL:045-662-3721 FAX:045-651-0169

■横浜YMCA “PINK SHIRT DAY” のお知らせ

2007年、カナダの学校で、ピンクのシャツを着た子どもが、ゲイと言われていじめられました。それを知った、仲間が50枚のピンクシャツを調達し、翌日みんなで学校に着ていきました。また、驚くことにメール等で知った仲間も、ピンクの消しゴムや、ピンク色のモノを身に付けていき、その結果いじめがなくなりました。以後、カナダ全土や、世界中でいじめられている子どもに連帯し「いじめ」をなくそうとピンクシャツデーが2月の最終水曜日に行われています。今年は2月27日（水）がピンクシャツデーです。スタッフ・リーダー一同はピンク色のグッズを身につけて皆さんをお待ちしています。『いじめのない世界をつくらう』という思いにご賛同いただける方は、当日一緒にピンクグッズを身につけましょう。そして、いじめに対するアピールをYMCAと一緒に社会へ発信していきましょう！

■ピンクシャツデー2019 東西ワイズメンズクラブ・全国YMCA 共通シャツのご案内

本年度、Tシャツのデザインが新たになり、この運動をワイズメンズクラブの皆さんと共により広く、社会へ展開したいという願いから、ワイズメンズクラブ、YMCA コラボ、ピンクシャツを作成いたします。枚数、サイズ等、限定ではありますが、是非、多くの皆さんにご購入いただけますようお願いいたします。



【デザイン】*ワイズロゴと YMCA ロゴは白抜きで袖部分に配置されます。【作成枚数】1,500枚（Mサイズ700枚 Lサイズ600枚 XLサイズ200枚）【価格】1,100円（税込）【申込方法】購入希望の方は、青木までご連絡下さい。横浜YMCA学院専門学校 作業療法科 TEL：045-641-5785

【申込期日】2019年1月31日（木）*各YMCAが申し込む期日となります。【納期】2019年2月12日発送（予定）

【デザイン】*ワイズロゴと YMCA ロゴは白抜きで袖部分に配置されます。【作成枚数】1,500枚（Mサイズ700枚 Lサイズ600枚 XLサイズ200枚）【価格】1,100円（税込）【申込方法】購入希望の方は、青木までご連絡下さい。横浜YMCA学院専門学校 作業療法科 TEL：045-641-5785

【申込期日】2019年1月31日（木）*各YMCAが申し込む期日となります。【納期】2019年2月12日発送（予定）

定) 各 YMCA への納品となります。

■「つながる café-Y」が1月19日にオープンします。



知りたい情報が「みつける」場所、新しい仲間と「つながる」場所、地域の未来が「よくなっていく」場所。「つながる café-Y」は、認知症の方とそこご家族が一

緒にくつろげる場所です。おいしいコーヒーやお菓子を楽しみながら、ミニ講話や作業療法士による手先を使った活動をお楽しみいただけます。知りたい情報、新たな仲間と「つながる」カフェです。参加申し込みは不要です。気軽に参加でき、当事者や家族が楽しめるとともに、気軽に情報交換ができる「認知症カフェ」です。是非、一度お越しください。

日時 1月19日（土） 14時～16時

場所 中央YMCA 8階ラウンジ

費用 飲み物・菓子代各100円

内容 認知症カフェでの飲み物等提供、苔玉づくり、高齢者の方のお話相手等

問い合わせ 横浜YMCA学院専門学校 作業療法科

TEL：045-641-5785

1月例会プログラム

日時：1月12日（土）18:00～20:00

場所：廣東飯店（横浜中華街）

出席者：横浜YMCA常議員、事業委員、職員、湘南・沖縄部のワイズメン・メネット

Happy Birthday

今村謙(9)、松島紀子(11)、大江浩(26)

例会報告：松島ワイズ

2月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
11	月	10:00	横浜YMCA会員大会兼第一例会	湘南とつかYMCA
16	土	13:30	4部合同EMCシンポ	東京YMCA
16-17	土	—	部長沖縄公式訪問	沖縄YMCA
28	木	17:00	第二例会	中央YMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org 電話 045-641-5785